

国府地区地域計画 2027



2024年 4月



国府地区まちづくり協議会

目 次

1	はじめに	1
2	国府地区が目指す将来像 (国府地区まちづくり基本目標)	1
3	国府地区の姿	
	(1) 地区旗と地理	2
	(2) 地域の成り立ちと地域の現況	2
	■鈴鹿市及び国府地区の人口・世帯数	3
	■鈴鹿市全体及び国府地区の人口推計	
	■小学校・中学校普通学級児童・生徒数推計	4
	■協議会別の認知症高齢者数	5
	■協議会別の要介護認定者数	
	■一人当たり医療費及び被保険者数推移	
	■次期鈴鹿市総合計画策定のための市政アンケート結果	6
4	専門部会別方針と主な取り組み	7～8
5	専門部会別活動計画	
	(1) 安全・安心部会	9
	(2) 地域活性化部会	10
	(3) 子ども育成部会	11
	(4) 福祉・健康部会	12
6	組織図	13

1 はじめに

国府地区まちづくり協議会

2022年から団塊世代が75歳に到達し始め、2025年には後期高齢者が全人口の18%を占めると予想されています。いわゆる2025年問題です。医療・介護の負担増、社会保障バランスの乱れなど社会に及ぼす課題がいよいよ現実味を帯びてきています。一方、少子化傾向もとどまるところを知りません。子育て支援対策や男女の働き方改革など種々の対策がなされていますが、超少子高齢化傾向はますます勢いを増してきています。

そんな状況下で、国府地区まちづくり協議会は「自分たちの生活は自分たちでまもる」ことを基本に、令和元年5月に発足いたしました。翌令和2年4月には活動の根幹となる「国府地区地域計画2023」を策定し、4つの専門部会で活動を開始いたしました。残念ながら、同年度1月から全世界で猛威を振るった新型コロナウイルス感染禍に突入し、まちづくりの活動そのものが大きな制約を受ける期間が長くありましたが、その間も可能な限り活動を進めてサロン活動・生活支援幸ネットなど介護予防対策を推進してまいりました。また登下校時の見守りやあいさつ運動の充実、子供のリーダー育成なども継続して推進しています。地域の安全安心のための防犯パトロールの強化や地域で取り組む防災対策も着実にその成果を重ねています。それらの集大成として令和5年11月には学校を含めた地域の皆様の協力を得て、「みんなで知ろう国府のまち みんなでつながろう国府のひと」を合言葉に国府地区まちづくりフェスティバルを開催することができました。地域の皆様にまちづくり活動の一端でもご披露できたことに感謝申し上げます。

本年度、地域計画2023の成果を受けて「国府地区地域計画2027」を策定いたしました。従来の活動の継続・充実を図るとともに新規の取り組みにも挑戦する内容になっています。是非ご高覧いただいた上で、地域の皆様のご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

地域全体で活動に参画し、思いやりにあふれ 誰もが心豊かに暮らせるまちを作りましょう！

2 国府地区が目指す将来像（国府地区まちづくり基本目標）

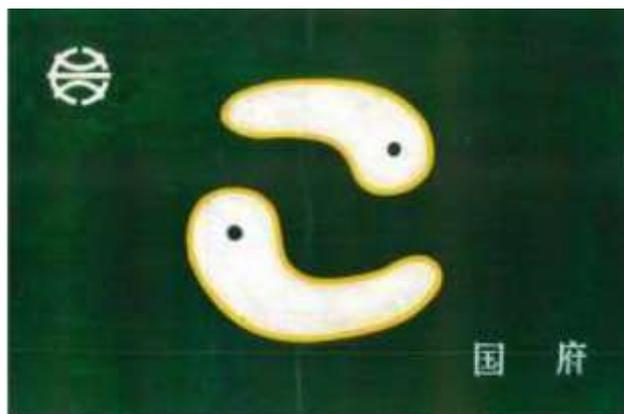
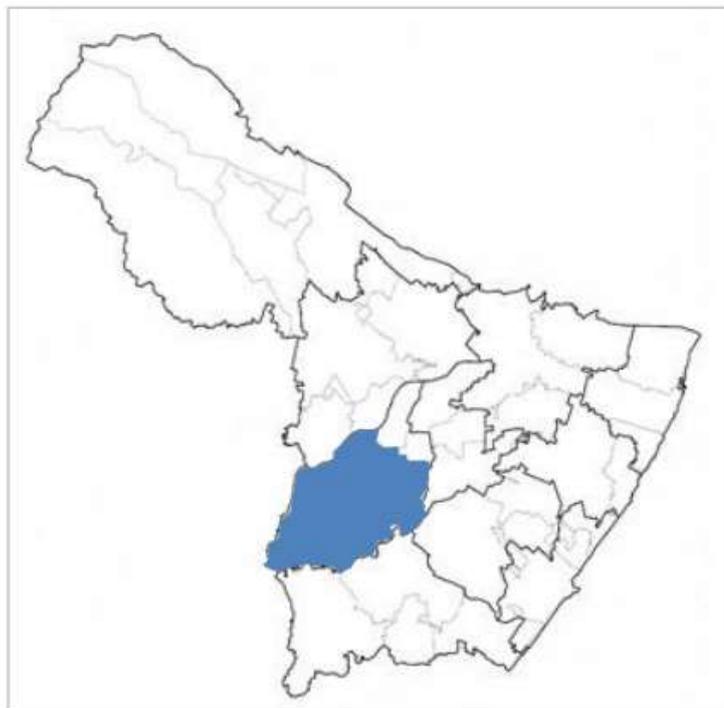
「思いやりにあふれ

誰もが心豊かに暮らせるまち 国府」



3 国府地区の姿

(1) 地理と地区旗



【地区旗】 意匠[勾玉（まがたま）]

奈良時代に国府が置かれ文化の開けたこの地は、王塚を始めとして、その数八十に及ぶ古墳が現在も残されている。

多くの出土品の中から特に「勾玉」を選んで地区名の頭文字「こ」の字形を配した。

地色は「みどり」。主産業である農業を表すにふさわしい「みどり」を選んだ。

(2) 地域の成り立ちと地域の現況

国府地区は鈴鹿川右岸に位置し、古来から交通の要衝にあり、王塚を始めとし



て県内屈指の古墳群をはじめ、数々の歴史的、文化的遺跡や遺物とともに多くの伝説や民話が語り継がれています。

昭和初期には、鈴鹿海軍工廠等の軍施設が設置され、特に戦前は軍施設の従業員数の増加、戦後においても基幹産業の農業のみならず、旧軍施設跡等に本田技研工業をはじめと

する平和産業が誘致され、利便性の良さから居住地として、団地等が開発されました。その後、地区内や周辺には鈴鹿サーキット、イオンモール、回生病院等が誘致され、暮らしやすい環境を維持しています。

しかし近年、国府地区は超少子高齢化の影響を受けて認知症高齢者や要介護認定者の人数が鈴鹿市の中でも上位を占めているのが現状です。また、子供の数も確実に減少しており、10年後には現在の小学校のクラス数がほぼ半減すると推定されています。本来暮らしやすいとされてきたこの地域で居住する我々にとって、今こそ現状から生じる多くの課題に翻弄されることなく、住民が一丸となって、未来のために問題解決に取り組むことが必要とされています。

■ 鈴鹿市及び国府地区の人口・世帯数【令和4年9月末現在】

	鈴鹿市全体	国府地区	市全体に占める割合
総人口	196,693 人	10,810 人	5.50%
世帯数	88,262 世帯	5,166 世帯	5.85%

■ 人口推計

○ 鈴鹿市全体【鈴鹿市人口ビジョン(パターン2)】



(出典元: 鈴鹿市人口ビジョン(改定版)令和2年3月)

○ 国府地区【住民基本台帳及び全国小地域別将来人口推計システム】



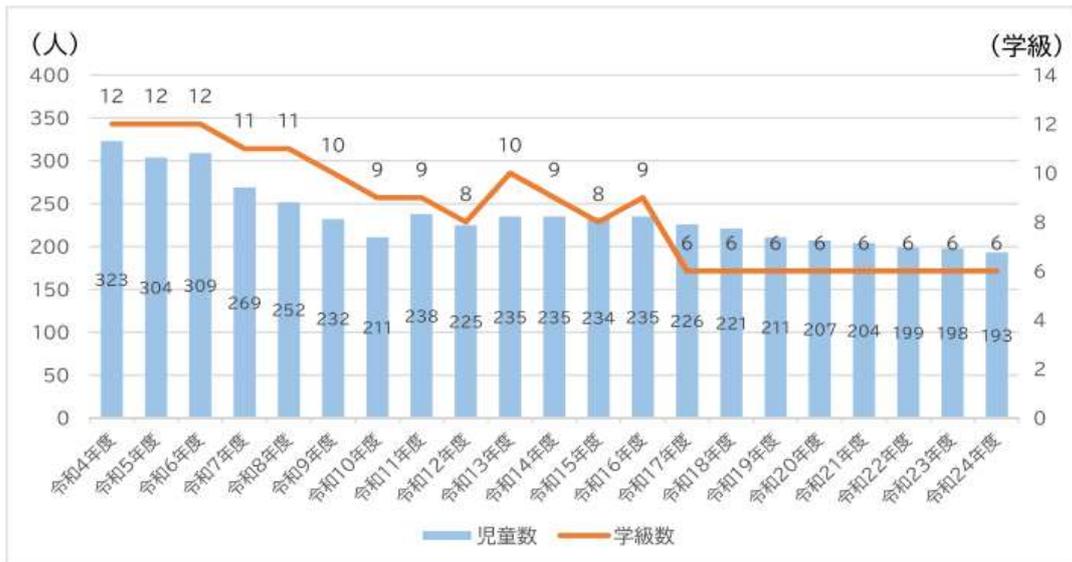
※ 令和2年までは住民基本台帳による

※ 令和12年からは全国小地域別人口推計システム(作成者 青山学院大学 井上孝氏)

URL <http://arcg.is/1LqC6qN>

■ 小学校 普通学級児童数推計【令和4年5月現在】

○国府小学校



○明生小学校



■ 中学校 普通学級生徒数推計【令和4年5月現在】

○平田野中学校

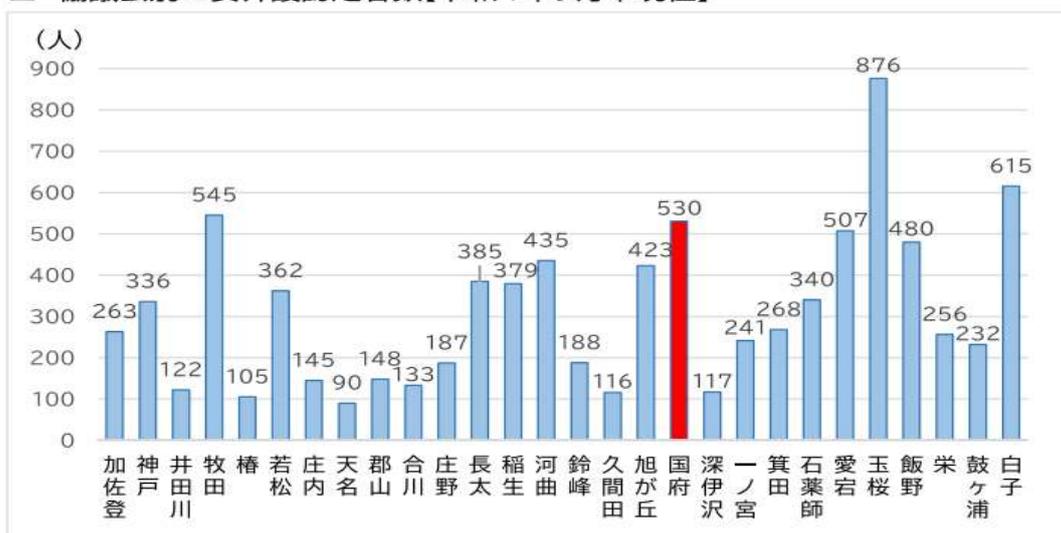


(資料提供:教育政策課)

■ 協議会別の認知症高齢者数【令和4年9月末現在】



■ 協議会別の要介護認定者数【令和4年9月末現在】



(資料提供:長寿社会課)

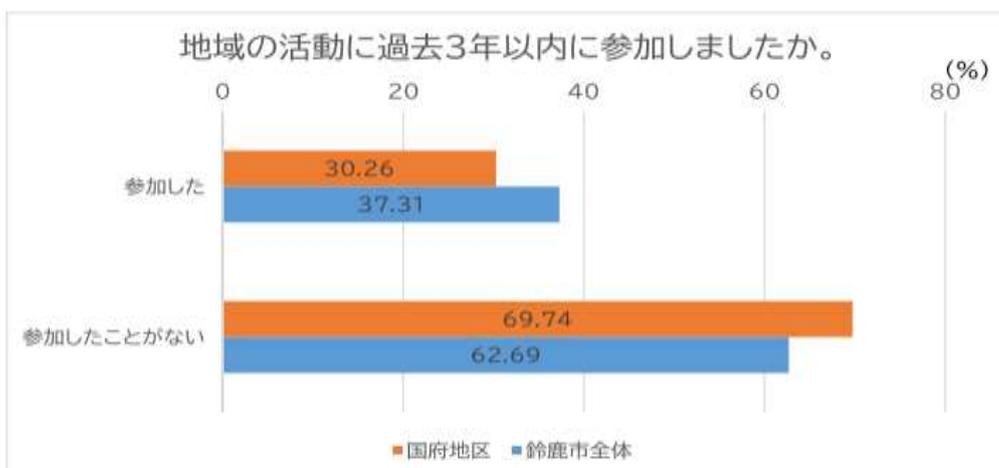
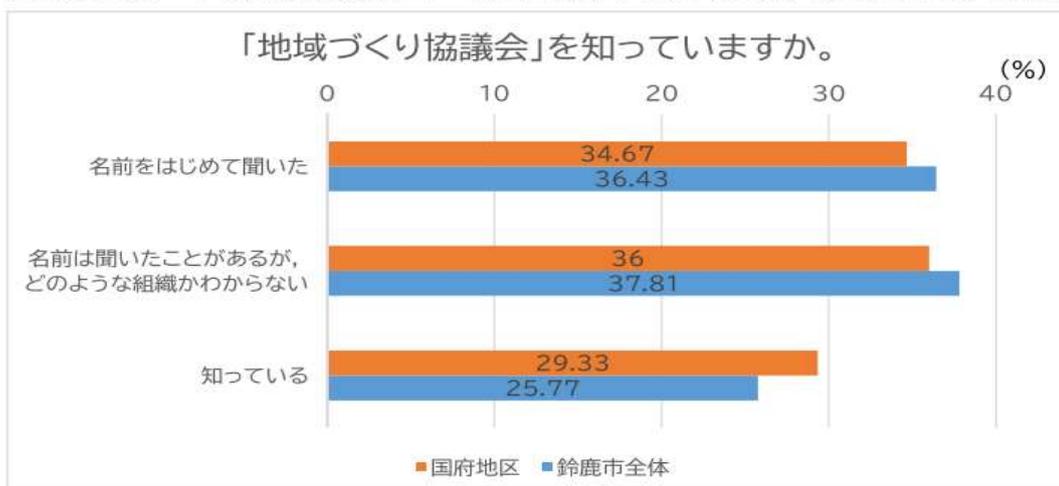
■ 一人当たり医療費及び被保険者数推移(鈴鹿市全体)



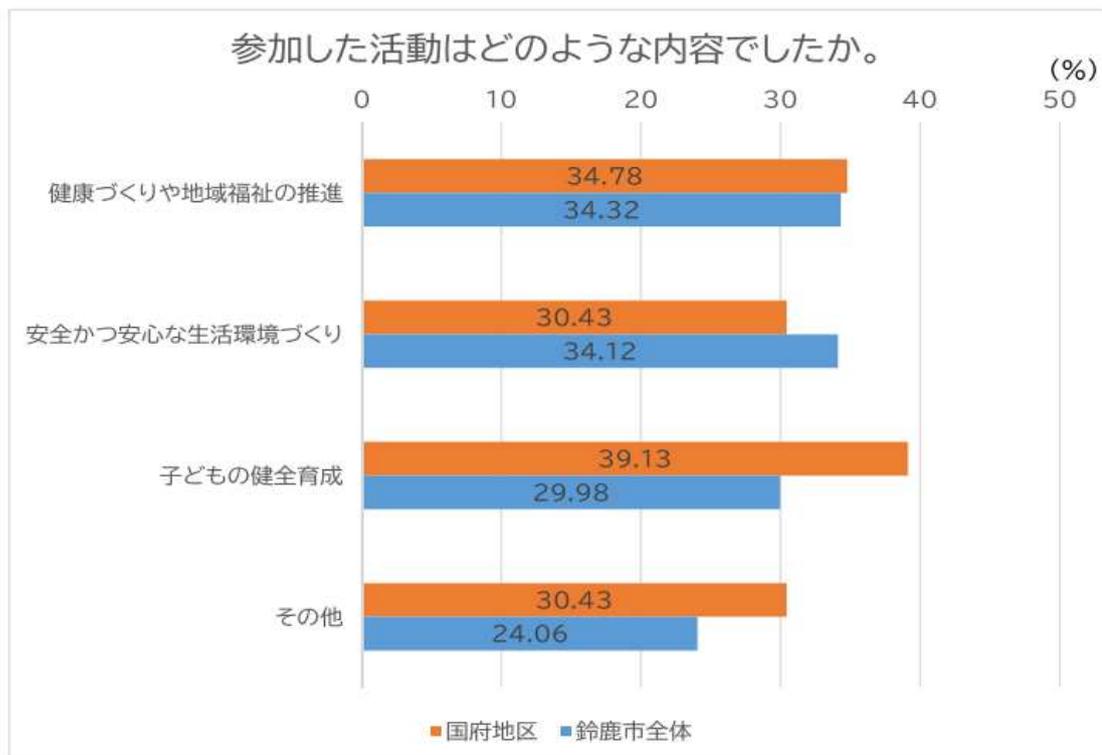
(資料提供:保険年金課)

■ 次期鈴鹿市総合計画策定のための市政アンケート結果(国府地区,R4)

※こちらのデータは、地区市民センター所管区域かつ有効回答のみで集計されています。



※「地域の活動」とは、地域づくり協議会、自治会、老人会、サロン、子ども会、町内のスポーツ大会や夏祭りの準備などのことです。



※複数回答が可能であるため、合計が「100%」にならない場合があります。

(資料提供:総合政策課)

4 専門部会別活動方針と主な取り組み

安全・安心部会	部会構成団体
	国府・住吉防犯委員会 消防分団 国府・明生小学校 平田野中学校 青少年育成町民会議 自治会長会 協力員
事業計画	
<p>【活動方針】</p> <p style="text-align: center;">安全・安心で住みよいまちづくり</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域全域の防災体制づくりの推進 ②地域に応じた防犯パトロール活動の実施 ③地域における交通安全体制の充実 	

地域活性化部会	部会構成団体
	国府・住吉公民館運営委員会 農業委員会 国府・明生小学校運営協議会 平田野中学校運営協議会 青少年育成町民会議 自治会長会 協力員
事業計画	
<p>【活動方針】</p> <p style="text-align: center;">地域資源を活かしたまちづくり</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域に広がる国府地区まちづくりフェスティバルの開催 ②各種ボランティア活動の充実 ③地域の文化財保護・活用活動の推進 	

子ども育成部会	部会構成団体
	青少年育成町民会議 国府・明生小学校 国府・明生小学校運営協議会 平田野中学校 平田野中学校運営協議会 国府幼稚園 民児協・社協 自治会長会 協力員
事業計画	
<p>【活動方針】</p> <p style="text-align: center;">子育てにやさしいまちづくり</p> <p>【主な取り組み】</p> <p>①子どものリーダー育成活動の推進</p> <p>②誰もが気軽に挨拶が交わせるまちづくりの推進</p> <p>③地域全体で取り組む美化運動の実施</p>	

福祉・健康部会	部会構成団体
	民児協・社協 体育振興会 長寿会 第2地域包括支援センターあんず 自治会長会 協力員
事業計画	
<p>【活動方針】</p> <p style="text-align: center;">健康でいきいきと暮らせるまちづくり</p> <p>【主な取り組み】</p> <p>①生活支援幸ネットによる地域住民の相互支援システムの充実</p> <p>②地域介護予防活動(サロン活動)の充実</p> <p>③体育振興会による住民の健康増進活動推進事業</p> <p>④行方不明高齢者捜索ネットワーク推進事業</p>	

5 専門部会別活動計画

【 安全・安心 】部会

活動方針	安全・安心で住みよいまちづくり
実施事業	大規模災害に備えた国府地区地域防災体制構築事業
	国府地区防犯パトロール活動体制の構築事業
	交通安全啓発事業、移動交番の有効活用推進事業
事業概要	国府地区防災計画に基づいた国府地区防災訓練の実施と防災備蓄充実を推進する。
	国府地区防犯パトロール実施についての体制づくりを検討する。
	交通事故防止啓発、移動交番の有効活用についてPR活動実施する。
第1次地域計画活動成果	国府地区防災計画策定(令和4年) 国府地区避難所運営マニュアル策定(令和5年) 国府地区避難所運営訓練実施(令和5年9月) 防災備蓄品整備(令和4・5年)

実行計画

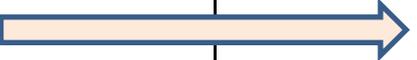
計画年次	2024	2025	2026	2027
実施概要				
大規模災害に備えた	地域防災計画、避難所運営マニュアルの見直し・修正 国府地区防災訓練検 防災備蓄品整備	避難場所・経路、通学路、安否確認、 国府地区防災訓練実施		
防犯パトロール体制づくり	国府防犯委員会 青パト体制検討 住吉防犯委員会	国府地区全域で青パトによる見守り活動		
住民参加の見守り活動の検討・実施	日常生活での見守り協力体制の検討	日常生活(散歩等)にベスト・腕章等貸与体制検討及び実施		
交通安全啓発活動 移動交番のPR活動	交通安全啓発ポスター作成 PRパンフ等作成・啓発		交通安全啓発ポスター作成 PRパンフ等作成・啓発	

第2次地域計画達成目標	防災	避難所運営訓練を含めた国府地区防災訓練の実施
	防犯	国府地区全域周年の青パトによる防犯パトロール実施 地域住民参加による日常生活における見守り活動実施
	交通安全	地域内の交通安全啓発活動と移動交番活動の周知活動実施

【 地域活性化 】 部会

活動方針	地域資源を生かしたまちづくり
実施事業	国府地区まちづくりフェスティバル充実・推進事業
	国府地区各種ボランティア活動推進事業
	国府地区内文化財の保護・活用推進事業
事業概要	国府地区まちづくりフェスティバルをさらに発展充実させ、地域住民が地域活動を理解することで住民同士の一体感を増進する。
	各地域活動を明文化し、ボランティアとして多くの人材が少しずつ負担を分担しながら活動に参加できる環境を構築する。
	地域で大切にされている数多い文化財を確認・紹介し、その保護や地域での活用を推進する。
第1次地域計画活動成果	第1回国府地区まちづくりフェスティバル開催(令和5年11月) ボランティア名簿作成プロジェクト委員会立ち上げ(令和5年2月) 第1回ボランティア募集(令和5年8月)

実行計画

計画年次	2024	2025	2026	2027
国府地区まちづくりフェスティバル充実・推進事業	自治会との連携 小・中学校との連携 地域住民による運営	公民館文化祭との連携 地域企業との連携		
国府地区ボランティア活動推進事業	ボランティア募集团体・事業内容の確認 活動推進メンバーの確定	ボランティア活動の強化推進		
国府地区文化財保護・活用事業	市文化財課と連携した文化財の保護・活用内容の検討	市文化財課と連携した活動ボランティア組織立ち上げ検討	地区内文化財のPR活動推進	

第2次地域計画達成目標	まちづくりフェスティバル	小中学校、公民館、企業等と連携したまちづくりフェスティバル開催
	ボランティア活動	各種ボランティアの募集活動とボランティア育成
	文化財保護・活用	行政と連携した文化財保護・活用活動事業実施

【 子ども育成 】 部会

活動方針	子育てにやさしいまちづくり
実施事業	地域内小中学校におけるリーダー育成事業
	あいさつ運動の啓発・推進事業
	国府地区美化運動の充実・推進事業
事業概要	ワークショップ活動を実施し、自主的に環境を整える意識を持って活動することができるリーダーを養成する。
	地域住民が子供・大人に隔てなく気軽に挨拶が交わせ、コミュニケーションがとれる環境づくりを行う。
	地域全体で地域住民自身による美化運動を実施し、自分たちの住むまちは自分たちで美しい環境にする意識を整える。
第1次 地域計画 活動成果	ワークショップ・平田野中学校(R3~5年) 国府・明生小学校(R2~5年) あいさつ運動・キャッチフレーズ募集・のぼり旗作成(R3) 親子ポスター・あたたか体験作文募集・横断幕、ポスター作成(R3年~)

実行計画

実施概要	計画年次	2024	2025	2026	2027
国府・明生小学校 平田野中学校での ワークショップ 活動推進					
各学校と連携した あいさつ運動啓発	キャッチフレーズ 等募集 見守り活動との連 携		啓発ポスター・横 断幕等の作成		
自治会と連携し た町内美化活動 推進	小・中学校児童・生 徒の参加協力				

第2次 地域計画 達成目標	リーダー 育成	未来のリーダー育成を目指して、地域内小中学校と連携したワークショップ開催
	あいさつ 運動	年度ごとのポスター・横断幕等の作成と啓発活動実施
	美化活動	小中学校児童生徒の美化活動参加による地域全域の美化活動推進

【 福祉・健康 】 部会

活動方針	健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施事業	生活支援幸ネットの地域内全域拡大による活動充実推進事業
	サロン活動の全域拡大と国府地区内連携ネットワーク推進事業
	体育振興会による健康増進活動推進事業
	行方不明高齢者検索ネットワーク推進事業
事業概要	日常の生活支援が出来る組織を国府地区全域に拡大し、国府地区全域で高齢者支援が出来る体制づくりを推進する。
	サロン活動を推進支援すると共に未実施自治会への勧誘活動を実施する。また活動を通じて介護予防や健康維持増進をはかる。
	地域内全住民の健康増進支援活動をはじめ、サロン活動・長寿会活動における高齢者対象の運動普及活動を推進する。
	近年増加する行方不明高齢者検索活動の円滑化、効率化を図り地域全体で高齢者を見守る体制作りを推進する。
第1次地域計画活動成果	幸ネット活動自治会（西住吉、下区、西之城戸、新町） サロン活動（13自治会で16団体）サロン活動連絡協議会（令和3年、4年） 行方不明高齢者検索ネットワーク開始（令和3年11月開始）

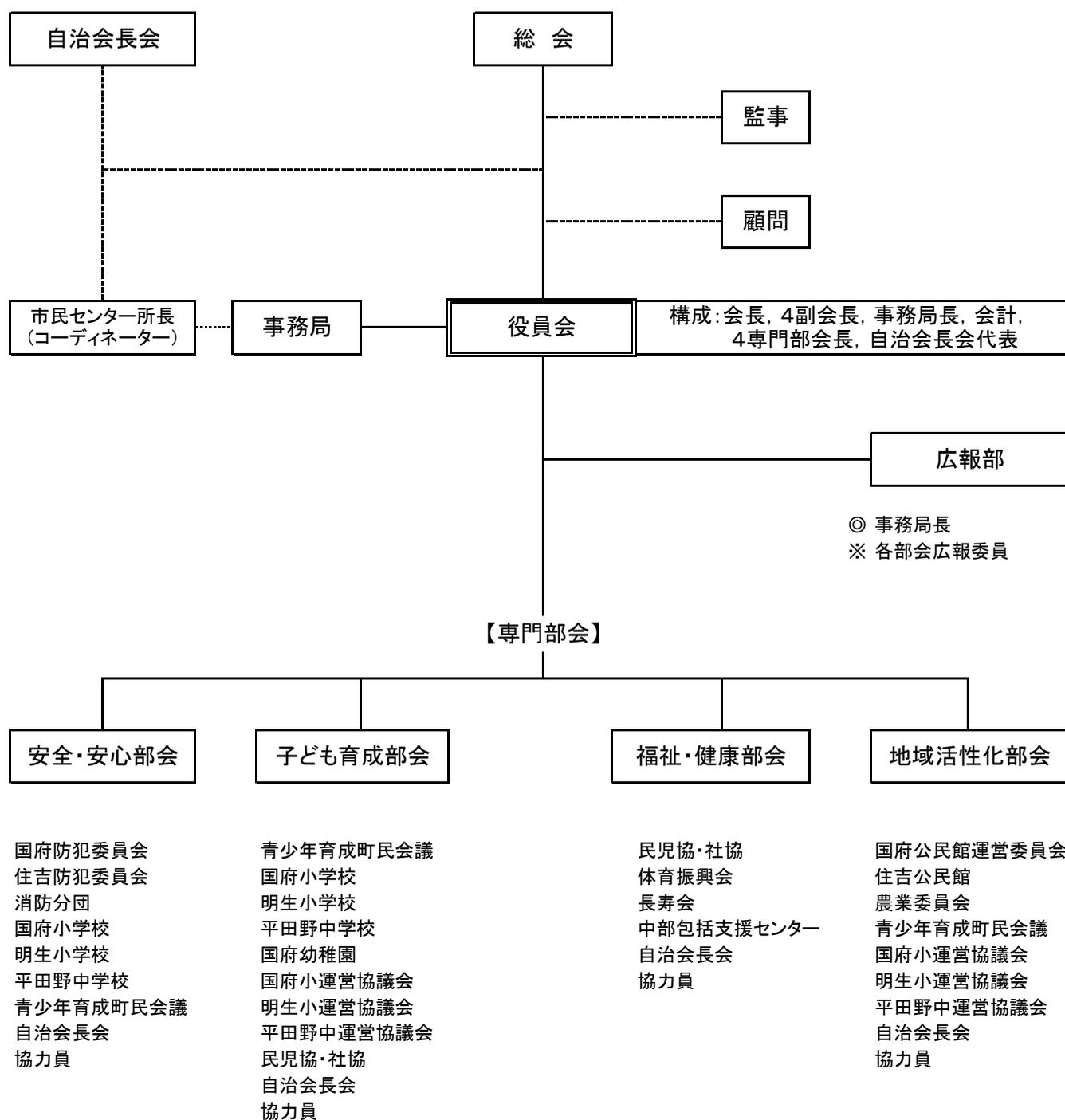
実行計画

実施概要	計画年次	2024	2025	2026	2027
実施中の生活支援ボランティア組織への活動支援 新規実施自治会へ		→			
	住民への説明会、アンケートなどの実施	生活支援幸ネット実施予定自治会との連絡調整	地区内全自治会で生活支援幸ネット活動実施	→	
サロン活動推進と新規活動組織構築	地区内サロン活動連絡協議会開催	地域内全自治会でサロン活動開始	→		
	通所型サロンBの活動検討	通所型サロンBの活動実施	→		
体育振興会による健康増進活動支援	→				
行方不明高齢者検索ネットワークの充実・推進	検索マニュアルを活用した実施訓練	→			

第2次地域計画達成目標	生活支援幸ネット	国府地区全自治会での幸ネット活動実施
	サロン活動推進	全自治会でのサロン活動実施と公民館と連携した通所型サロン活動の実施
	健康増進活動	体育振興会と連携した健康増進講座の開催
	行方不明高齢者検索活動	行方不明高齢者検索ネットワークマニュアルによる検索活動体制の確立

6 組織図

国府地区まちづくり協議会 組織図



- ※部会長、副部会長は部会員の中から選出する。
- ※部会を超えた調整・協議は連携の必要に応じて随時開催できるものとする。
- ※役員会は総会に次ぐ議決機関で部会等の原案を協議・決定する執行機関の役割を担う。
- ※協力員は地域の個人又は法人等の推薦された委員で専門部会に所属するものとする。

国府地区地域計画 2027

発行日 令和6年(2024年)4月

発行・編集 鈴鹿市国府地区まちづくり協議会

☎513-0836 鈴鹿市国府町3294 国府公民館内

Tel 059-324-8149 Fax 059-324-8149

Mail koumachikyo@mecha.ne.jp